



2020年7月22日

各位

会社名 日本ケミファ株式会社
代表者名 代表取締役社長 山口 一城
(コード番号 4539 東証第1部)
問合せ先 取締役執行役員経営企画部長
安本 昌秀
(TEL 03-3863-1211)

グループ構造改革実施のお知らせ

当社は、2020年7月22日開催の取締役会において、国内拠点の統廃合を伴う営業組織の再編や、希望退職者の募集などのグループ構造改革を実施することについて決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 構造改革を行う理由

斯業におきましては、新薬開発の難易度上昇や国内ジェネリック医薬品市場の競争激化に加えて、薬価制度の抜本改革が推進されるなど、事業環境の厳しさが増えています。また、デジタルテクノロジーの急速な進化が企業活動のあり方に大きな変革をもたらしており、競争優位性を確立するためには、製品、サービス、ビジネスモデルをタイムリーに革新することが求められています。

当社グループはこれまでもサプライチェーンの効率化や経費の適正化を進めてまいりましたが、急激な事業環境の変化に迅速に対応し、いかなる環境においても持続的な成長を実現する事業構造への転換を図るために、さらなる構造改革の取り組みを実施することといたしました。

2. グループ構造改革の概要

(1) グループ医薬営業組織の再編

グループ医薬品事業の生産性を向上し収益性の強化を図るため、以下の通り、当社グループの医薬営業組織を一元化することとします。

- ① 当社グループ全体の医薬営業部門を統括するグループ医薬営業本部組織を新設し、同組織がグループ医薬営業戦略を立案し、当社および子会社日本薬品工業株式会社の医薬営業部門を統括指揮する体制とします。
- ② 上記体制の下で、顧客セグメント毎に多様化するニーズに沿った販売戦略を推進するために、グループ医薬販売体制を顧客セグメント別に責任と権限を明確化した組織に再編します。

- ③ また、当社グループでは、これまでも業務効率化の観点から購買部門や情報システム部門など管理業務のシェアードサービス化を推進してまいりましたが、更なる業務効率化と機能強化の観点からシェアードサービスの対象業務を今後も拡大することを検討してまいります。

(2) 国内拠点の統廃合

MR 活動に求められるニーズの変化やデジタルトランスフォーメーションの進展による新しい働き方に対応するとともに、経費効率化による事業収益性の向上を企図して、以下の通り、国内拠点の統廃合を実施します。

- ① グループ医薬営業組織再編の効果を最大限に引き出すために、国内支店営業所を現在の 8 支店 22 営業所から 7 支店 18 営業所に統廃合し組織を簡素化します。
- ② テレワークを新しいワークスタイルとして継続活用し、フリーアドレス化を推進することで、グループ本社事務所スペースの削減を図ります。

(3) デジタルトランスフォーメーションの推進

ポストコロナの新しいワークスタイルに対応するとともに、企業活動の生産性を向上させるために、以下の通り、デジタルトランスフォーメーション推進投資を実施します。

- ① ネットワークの増強、モバイル型パソコンへの置換、セキュリティ対策強化などの情報インフラ整備を実施します。
- ② MR の生産性向上を目的として営業支援システムを刷新し、当社および日本薬品工業株式会社において一元的に管理、運用を行います。

(4) 希望退職者の募集

グループ構造改革における人員体制の適正策の一環として、また、多様化する社員のライフプランを支援するために、下記の通り希望退職者の募集を行います。

- ① 募集対象：支店、営業所に所属または駐在する医薬営業部門社員
- ② 募集人数：30 名程度
- ③ 募集期間：2020 年 8 月 7 日～2020 年 8 月 28 日
- ④ 退職日：2020 年 9 月 30 日
- ⑤ 優遇措置：割増退職金の支給、再就職支援制度の適用

3. 今後の見通し

本施策の実施による 2021 年 3 月期連結業績に与える影響につきましては、希望退職者の応募者数や内訳などが未確定であるため、確定次第速やかに公表いたします。

以 上